



操業後：「いろいろな魚が見られて良かった」「自分から進んでできた、日本に帰っても続けたい」「意外と短かった」「もっと操業したい」「船員さんが優しくて面白い」「全力で楽しめた！」「指示が出せるようになった」「船員さん達のようにになりたい」「やりがいを持って仕事をしていると思った」「いい経験ができた！」「メリハリをつけて頑張った！」「今後は冷静に判断し考えて行動したい」「周りを見て行動できるようになった」「ずっと集中してしんどかったけど楽しかった」などがありました。



2月17日エンジンルームの大掃除



虹の中でのラジオ体操



交代当直



2月25日 六分儀



船員さん達とカジキの角で記念撮影



3月2日 船体整備

3月8日 マグロ水揚げ



最後の感想には、「下級生を引っ張っていけるように実習のことを学校でも活かしたい」「船関係の仕事につきたい気持ちが強くなった」「一瞬に感じるけど1日が濃かった」「先週が乗船式だった感覚」「〇〇が助けてくれて驚いた！」「船員さん達も専攻科生も凄いと思った」「専攻科生にしてもらった事を自分も（専攻科で）やってあげたい」「叱られることもあったけど人間的に成長できた」「誰も見て居ない所でもサボらずできた！」「親が普段からしてくれる何気ないことがとてもありがたいと感じた」などなど、すべてをお伝えすることはできませんが生徒達は様々な経験を重ね成長したようです。実習を通して学んだことを決して忘れず、将来の自分のために「経験を重ね」、立派に成長し続けてくれることを願っています。



今航海が事故・怪我なく終えられたのは保護者の皆さん、神海丸関係者の皆さんのおかげです。深く感謝申し上げます。引き続き見た目も中身も、より成長した生徒達の応援を宜しくお願いします。